

南仏事件情報（2016年10月分）

（1）殺人、強盗等

○ 男性が銃撃されて重傷（B d R県）

13日午前1時ごろ、セプテム・レ・ヴァロン市で、48歳の男性が、バーから出てきたところを銃撃された。弾丸は男性の腹部と脇腹に命中した。襲撃者は、仲間が運転する車で逃走した。現場には、8発の薬きょうが遺留されていた。男性は重態で、病院に搬送された。

○ カルフル・シティが襲撃される（B d R県）

22日22時30分ごろ、マルセイユ市4区のカルフル・シティにけん銃で武装した2人組の強盗が押し入った。強盗は、400ユーロを奪い逃走した。

○ タバコ屋に強盗（B d R県）

23日19時ごろ、マルセイユ市8区のタバコ屋（Bar-tabac）に、3人組の覆面強盗が襲いかかった。犯人らは店の従業員を脅し、レジを持ち去った。また、客の財布も奪って逃走した。

○ けん銃強盗の急襲でショッピングモールが恐怖に包まれる（アルプ・マリタイム県）

29日午前10時ごろ、ニース市東部にあるショッピングモール（カルフルTNL）で、開店直後の宝石店にけん銃強盗が入った。強盗は覆面をした3人組で、バイクとスクーターに乗って轟音とともに現れ、1人がハンマーを持ち、1人はけん銃で周囲の通行人を狙い、1人がショーケースの宝石を収奪した。犯行はわずか5分で完了した。強盗が使用したバイクは現場から250mの場所に放置されていた。

○ 同じスーパーマーケットに2回の強盗（オート・ガロンヌ県）

30日午前9時ごろ、トゥールーズ市西部のカルフル・エクスプレスに、ナイフで武装した男が押し入り、数百ユーロを奪って逃走した。9時20分には、付近にある別の系列店も被害に遭い、数百ユーロが持ち去られた。最初に被害にあった店舗には、29日14時30分ごろにもナイフを持った強盗が入っていた。29日には、同じ通りのガソリンスタンドにも強盗が入った。8月下旬から9月上旬にかけて、同市北部では同じよ

うにスーパーを狙った複数の強盗が発生した。

(2) その他

○ 包丁を持った男が通行人を脅迫（B d R 県）

7日16時40分ごろ、マルセイユ市1区の大混雑している路上で、30歳代の男が包丁を持って通行人を脅迫した。男は見るからに精神に異常を来しており、直ちに拘束された。通行人にケガはなかった。

○ 観光客狙いの窃盗犯を逮捕（B d R 県）

7日、マルセイユ市8区のレ・グド地区で、車からスポーツ・バッグを盗んでいた2人組の男が逮捕された。男はいずれも41歳だった。現場付近では、数週間前から市外ナンバーの車を狙った車上荒らしの被害が多発しており、警察が警戒を強化していた。

○ バッグの窃盗犯が逮捕（B d R 県）

9日14時ごろ、マルセイユ市4区のトラム駅のそばで、2人の若い娘がバッグを奪い取ったが、被害者が近くにいた警察官に通報したため、拘束された。犯人は15歳で、窃盗の常習犯だった。

○ 男性が刃物で襲われ重傷（B d R 県）

20日午前1時すぎ、マルセイユ市1区の路上で、31歳の男性が刃物で襲われた。男性は、兄弟と2人で歩いていたところ、3人組の男から声を掛けられ、そのうちの1人が刃物を取り出し襲いかかった。男性は胸部に約10cmの傷を負い、病院に搬送された。

○ ひったくり被害で90歳女性が重態（エロー県）

20日15時50分ごろ、アグド市の路上で、90歳の女性が手提げバッグをひったくられた。被害時に車道に倒れ込んだ女性はケガをして病院に搬送された。

○ 大金持ちの地主が誘拐される（アルプ・マリティム県）

24日12時30分ごろ、ニース市中心部の路上で、76歳の大金持ちの未亡人地主が2人組の男から誘拐された。犯人は、地主を黒い四輪駆動車から力尽くまで引きずり出し、乗用車に押し込めて逃走した。同地主は、

3年前にもほぼ同じ場所で誘拐未遂の被害に遭っていた。前回は、目撃者たちのおかげで誘拐されずにすんだ。翌日、地主の息子あてに犯人から接触があったが、身代金の要求はなかったとのこと。同地主は、カンヌに5つ星ホテルを、ニースにレストランを所有しているほか、不動産会社を営んで複数のアパートを所有している。

※ ここに掲載した事件は新聞等の公開情報をもとにまとめておりますが、掲載した事件以外にも日々各種事件が発生していることを申し添えさせていただきます。